

分校だより

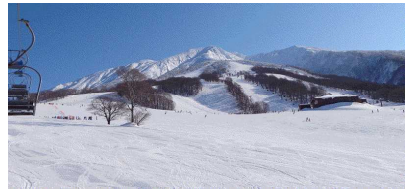
1・2月号

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
(TEL) 0187(88)1311
(FAX) 0187(86)9035

合格体験発表会

三学期スタート 一年の締めくくりを

1月16日(月)、三学期始業式がありました。今年度の締めくくりの学期の始まりです。1、2学期に比べて日数は少ないのですが、やらなければならぬことがたくさんあります。先日、3年生は最後の考査が終わり、自宅研修期間に入りました。4月からの新しい生活に向けての準備期間です。1、2年生は2月となる冬ならではの学習や行事が待っています。2月8日からはスキー授業が始まりました。地元の大台スキー場で始まり、最後は田沢湖スキー場まで出かけています。雪国秋田でもスキー授業のできる高校は少ないのですが、太田分校は地域からの様々な援助や協力をいただいております。本当にありがたいことです。



また、2月3日(土)には「太田の火祭り」がありました。この地域に伝わる伝統行事である「雪中田植え」「天筆焼き」「紙ふうせん上げ」などを一回にまとめたものです。太田分校ではその中の紙ふうせん上げに参加してきました。毎年6、8個のふうせんを作り飛ばしてもらっています。今年は途中で火が付いてしまった紙ふうせんがありましたが、夜空に飛び立って行きました。3月には授賞式や卒業式で3年生を送り出します。1、2年生は同時に自分自身の今年度の締めくくりの時期です。そのことも意識しながら3学期を過ごしていきたいです。



【はじめに】
4月から3年生は社会人として、1、2年生は本格的に進路に向けて、今自分がやらなければならないことに取り組みなければならぬ。当面は進級すること、しっかりと日々の勉強に取り組むこと、さらには自分が必要な目標を立てて取り組んでほしい。

【自己有用感と自己肯定感】
「自己有用感」とは、奉仕活動や職場体験活動等の他者との交流体験を通して、他者を好意的に受けとめたり、他者との絆や社会とのつながりを感じとったりする中で、「自分が必要とされている」「役に立っている」「感謝されている」という「自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかという自信を高め、安易に問題行動に走ることを抑止したり、危険なものに近づくことを抑制したりする働きをもちます。」「自己肯定感」とは、自分のあり方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を認めることができる感情などを意味する言葉です。「自己有用感」を持つことができれば「自己肯定感」を持つことができ、望ましい方向に向かいます。そのままの自分を認め受け入れ、自分を大切に思える、自らの全存在を肯定する感覚を持つことは大事だと意識してほしい。こういう感情が持てるように意識しながら自分のあり方を考えてほしい。

1月19日(金)、合格体験発表会がありました。3年生が1、2年生に自分の進路決定までの体験を話すというものです。図書視聴覚室で進学、県内外企業への就職など、合格や内定までの取り組みについて報告してくれました。今年度の3年生は11月中には全員が進路を決定させることができました。発表後には様々な質問もありましたが、3年生は丁寧な答えを返していました。身近な先輩の体験談とあって、1、2年生には大きな刺激があったようです。発表の一部を紹介したいと思います。今後の進路決定の参考にしてほしいと思います。



【県内進学・短期大学】
将来に役立つスキルを身につける環境を整えていることから希望した。自分をアピールするAO入試で受験。志望動機や将来設計などを具体的にアピールするため、何度も先生方と相談しながら効果的なアピールを練って試験に臨んだ。後輩達には夢を今の段階で見つけ、進路活動に取り組んでもらいたい。

【県内進学・技術専門学校】
小さい頃から電気関係の企業に興味があり、地元の電気関係の企業に就職を考えた。試験対策としては面接練習を繰り返した。数学の基礎問題があるもので、早い段階で一般常識問題を何度も繰り返し練習をすること。面接練習では、文章を整理する覚えようとはせず、話す事柄を整

【県内進学・林業大学校】
農業関係の仕事を目指していた。試験は面接と小論文で、面接は学校生活についてあらかじめしっかりまとめ、農業に関する自分の考えをしっかりと話せるように何度も練習をした。小論文対策は時間を限定して小論文を書いて、先生方に確認してもらった。準備をしっかりと行い、何事も重ねて練習を行い、確実に合格できると思うくらいの努力が必要。

【県内就職・ホテル関係】
以前から接客業に赴きたいと考えて志望した。面接試験に備え、たくさんの方と練習を重ねた。特に接客業ということでも面接練習でも笑顔とおもてなしがにじみ出てくるような話し方を意識しながら、実践を意識した練習が必要。アドバイスをもらって、最終的に決めた。今から少しづつ絞って、最終的に決めたものに対して全力で取り組むこと。先生方によって面接での着目点が変わるので、多くの先生方と練習をこなし、どんな質問にも対応できる自信を付けて試験に臨むことが大切。

【県内就職・理容関係】
小さい頃から理容系の仕事に就きたいと思っていた。夏休みには企業見学をし、自分を知ってもらうことから始めた。試験は面接と作文で、面接対策としては企業訪問時の説明を事前にまとめ、面接練習を行った。先生から話す内容の構成やアドバイスを受け、練習回数をこなすようにした。作文は、作文トレーニングを参考にしながら、その都度指導してもらった。アドバイスをもらって、一般常識の問題を繰り返し練習することで知識を豊富にしておくこと。さらに、いろいろな生活習慣にも気を配り、万全な状態で試験に臨むことが大切。

【県内就職・農業関係】
一次試験は国語、数学、一般常識と面接。教科の先生にテキストを準備してもらったり、自分で必要なテキストを購入して早くから取り組んだ。夏休み中には一通り完成させ、さらにレベルの高い問題に取り組んだ。面接は自己PRと志望動機、これまでの生活で心がけていることやどんな人になりたいのかなど、自己評価についてまとめて準備をした。二次試験は面接試験で一次試験で話した内容を整合性もチェックされた。アドバイスをもらって、勉強の他に世の中の出来事や動きをチェクしておくこと。さらに、日々の生活態度、言葉使い、容姿に意識して生活することが大切。



ものづくり講座② 紙ふうせんづくり

「太田の火まつり」で上げてもらう紙ふうせん作りを、1月24日(水)から準備を始め、2月2日(金)に終日かけて6個の紙ふうせんを完成させることができました。毎年紙ふうせん作りの指導をしていただいている実行委員の方々から、「毎年要領が良くなり、指導もやりやすくなっているね。」と生徒たちの取り組み姿に感心していました。今回も班ごとの人数も少なく、時間内に完成する心配でしたが、実行委員会の皆さんの指導と生徒職員一体となって何とか時間内に仕上げることが出来ました。



大仙市シェイクアウト訓練

1月23日(火)、シェイクアウト訓練が行われました。近年の災害を踏まえ、災害に強い町づくりの一環として全市民を対象に大仙市が行っている防災行動訓練です。昨年に続き二度目の参加となります。午前11時頃に地震が発生したという緊急放送が入り、生徒・職員が①まず姿勢を低く②頭を守り③動かないの安全行動をとる訓練を行いました。いざというときの安全行動を確認する簡単な訓練ですが、いつ何時災害に遭うかわかりません。もしもの時には身を守る行動をとれるように心がけていきたいと思います。



注意!

今年各地大雪で大変な状況ですね。太田分校も校舎周辺は雪による危険と思われる箇所があります。特に屋根の近くは避けるか、離れて通るようにして下さい。